

CELERY

セロリ

2016.10
October
No.101

| 特集 |

中村発プロジェクト!

～アクティブラーニングの現場から～



ボランティア活動
を通して
地域に貢献する学生の
インタビューを掲載

中面をCHECK!

地域活動の中で培った 自主性と社会性

生まれ育った筑前町のお祭り「ど〜んとかがし祭」の企画委員をはじめ、地域貢献をテーマにした流通科学部の音成ゼミでの課外活動を通して成長することができたという小松さんにお話を伺いました。



中村学園大学と縁のあった筑前町の「ど〜んとかがし祭」に運営ボランティアとして参加するようになったのは大学1年生の時。もともと積極的な性格ではなかったという小松さんですが、大学在学中の4年間、企画委員を務め、地元の行事に貢献してきました。ゼミ活動においても、「地域貢献」をテーマにボランティアとしてさまざまなイベントを手伝う音成ゼミに所属し、「障がい者バドミントン大会」や「若獅子旗なぎなた大会」、「ライジング

福岡」などの運営サポートを経験しました。「あたえられた仕事をしっかりとやることの大切さ、人とのつながりの大切さを学び成長できた」という小松さんは、今ではすっかり積極的な行動派タイプに変身！「自ら手を挙げ動くことで、たくさんの人とのつながりがついていくのを実感しています。来年の春には社会人になります。これからいろいろな地域活動に参加していきたい」と語る頼もしい笑顔が印象的でした。

自分からどんどん動いて
人とのつながりを広げていきたい

旬のひと 第6回

流通科学部流通科学科4年

小松 佑也さん

(福岡県立朝倉東高等学校出身)

CELERY | No.101

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌 [セロリ] 2016.10.24 発行



02 ----- 中村発プロジェクト!
～アクティブ・ラーニングの
現場から～

Column1

06 ----- この授業に注目!
「英語・文化海外研修」
栄養科学部 山根 一文 教授

卒業生インタビュー

07 ----- 先輩に会いたい!
福岡市立姪浜中学校 家庭科教諭 長岡 菜月さん

Column2

08 ----- クラブ&サークル
[吹奏楽部]

09 ----- GO!GO!PICKLES
「知ってる?知らない?中村のレアスポット」

11 ----- CELERY誌面講座
第6回 教育学部 針塚 進教授
「こころの健康 ～やる気と生きがいの心理学～」

13 ----- 栄養科学部「フード・マネジメント学科」
オープンキャンパス2016開催報告! (2017年4月開設)

14 ----- NEWS&TOPICS

特集

中村発 Nakamura Project プロジェクト

～アクティブ・ラーニングの現場から～

アクティブ・ラーニングとは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、
受講者が能動的に学習する教育で、
主体性・協働性・創造性などの資質や能力を育てることを狙いとしています。
本学では建学の精神にもある通り「理論と実際の統合」を図るため、
グループディスカッション、ロールプレイ、フィールドワークなど
さまざまな手法でアクティブ・ラーニングを授業に取り入れています。
この特集では、アクティブ・ラーニングの事例として、
本学で実施されたプロジェクトを紹介します。



『シェアわせ明太子』商品化！



手嶋ゼミでは、「福岡の魅力を学び、その魅力を発信するお手伝いをする」ことで福岡を元気にしたい！との思いから、商品開発やマーケティングの面で企業や地域の方々と協力し、地域活性化を目指す「福岡のよかもん伝えたらい隊」プロジェクトに取り組んでいます。今回、同プロジェクトの一環で、株式会社やまやコミュニケーションズ、J R九州リテール株式会社のご協力のもと、学生が企画提案した『シェアわせ明太子』が商品化されました。



『シェアわせ明太子』は、福岡を代表するご当地食品でありながら、贈答用・土産用明太子の売り上げ減少などの課題を抱える明太子業界を応援したい、という思いから企画がスタート。少人数世帯の増加や健康志向に伴うライフスタイルの変化

に対応し、シェアしやすいよう「個包装」を提案し、また贈りたくなる・伝えたくなる遊び心と特別感のあるパッケージにもこだわっています。そして、「しあわせ・おいしさ」を分かち合う明太子」を表現するネーミング『シェアわせ明太子』が採用され、ユニークで新奇性の高い商品になりました。また販売に伴い、PR販売イベントも実施。

9月1日～3日の3日間、博多デイトスにて新発売の試食を呼びかけ、足を止めてくれた方に商品の説明を行いました。また、多数のメディアからの取材を受け、企画の背景説明や商品PRも行いました。ゼミ長の宮下将太郎さん(流通科学部4年)は、「実際に店頭で並んでいるのを見て、感無量です。とても貴重な経験になりました」と話してくれました。

なお、商品は9月1日より博多銘品蔵(JR博多駅)、福岡銘品蔵シーホーク店、小倉銘品蔵(JR小倉駅)、やまや直営店等でも販売されています。



1本ずつの個包装なので、食べたい時に食べたい分だけ食べることができて便利です！

担当者コメント



流通科学部
手嶋恵美 准教授

授業ですでに学んだことの実践になるのですが、「わかっていたつもりだったけど、やってみると想像以上に難しかった」、「締め切りまでの時間のやりくりが難しかった」、「頭の中にあるイメージを上手く伝えることができなかった」など、現実的な課題に次々と直面し、学生にとっては心が折れてしまうようなことも少なくなかったようですが、この貴重な経験をきっかけに「将来は商品開発の道に」という学生がいるとうれいいですね。

栄養科学部
大部ゼミ

卒業研究で考案した、
「甘酒を使ったスムージー」
東京のカフェ「&MOSH」で販売中！

栄養科学部の大部ゼミでは、昨年度、同ゼミ生の卒業研究として、甘酒を使った健康スムージーの商品開発を行いました。

きっかけは、ダイエット中の方や咀嚼困難な方が手軽に栄養補給ができる食品を開発したいという思いから。さまざまな食品を検討した結果、『飲む点滴』といわれるほど栄養価の高い甘酒を使ったスムージーのアイデアが生まれました。さらに、現代人に不足しがちな食物繊維やビタミン・ミネラル等も補えるよう、味や産地にこだわった野菜や果物とミックスし、栄養補給だけでなく、美肌効果、疲労回復、整腸作用、抗酸化作用なども期待されるスムージーを考案。クラ



商品には地元産などこだわりの食材を使用。メニューごとに美肌効果やデトックス、疲労回復などの効果がある



ウドファンディングで資金を募り、商品化が実現しました。

その後、東京の鍼灸・整骨院グループ「ムーヴアクション」と商品化契約が締結され、今年6月、同社が運営するカフェにて販売が決定。東京・代々木公園にあるランニングステーション「&MOSH」内のカフェにて、6種類の甘酒を使ったスムージーが販売されています。

「&MOSH」 <http://andmosh.com/cafe.html>

担当者コメント



栄養科学部
大部正代 教授

栄養士・管理栄養士として巣立っていく学生に、「これだけは誰にも負けない!」というレシピをひとつ持っていてほしいとの思いから、「簡単でおいしい甘酒づくり」を伝授しています。そこからの発展が今回の商品開発につながりましたが、この貴重な経験をさらなる自信にして将来に活かしてもらえるとうれいすね。実践的に学べたことが、「自分でも何かがやれるんだ」と考える良いきっかけになったのではないかと思います。

教育学部
授業「保育・教職
実践演習(幼稚園)」

先生・園児・保護者になりきって
楽しみながら学ぶ
ユニークな「遠足ロールプレイング」

4年間を通して、自分に保育者としての力がどれだけ備わったかを確認する授業「保育・教職実践演習(幼稚園)」の授業で学生の力を確認するために用いられているのが、「遠足」のロールプレイングです。

年間さまざまなイベントが行われる実際の現場のなかで、運動会や発表会ではなく、いっしょに外に出かける保護者への指導も必要となる「親子遠足」を対象としてピクニックアップ。先生役・子ども役・保護者役にわか



アレルギーの子もいるなら...と、おやつは特別に発注。こうした工夫やアイデアは実際の現場で活かそうです



れ、さらには、「双子」、「やんちゃな性格」、「アレルギーがある」など、パーソナルデータまで細かく決めるといふこだわりがあるので、しっかりと役になりきり実際に遠足を体験します。

このロールプレイングのポイントは、自分たちで計画し、それぞれの役を

リアルに体験することで、座学では見えなかった細かい問題に気づくこと。アレルギーの子のおやつの問題や、兄弟がいるお母さんの苦勞...など、そこで得た新たな発見によって、残りの学生生活で自分が何を学ぶべきか、どんな力を身につけるべきなのか、という課題が見つかります。

担当者コメント



教育学部
山田朋子 准教授

自分に足りなかった課題がわかると同時に、「思っている以上にしっかり身に付いている」ことに気づいてもらうこともこの授業の狙いです。社会に出る前はたくさんの不安があると思いますが、「自分だって意外とやれるんだ!」という前向きな気持ちで、これから出会う保育の世界を楽しみにしてほしいですね。共に学ぶ仲間と遠足をする貴重な機会が、学生生活の良い思い出の1コマになることを願っています。

中村学園オリジナルグッズ、 霜月祭での販売に向け活動中！



今まさに企画進行中の「中村学園オリジナルグッズ」開発プロジェクトでは、学友自治会メンバーを中心とした「チームアスパラ」が商品企画を手掛けています。

「みんながつながる！みんなでつくる！」をコンセプトにクラウドファンディングで試作資金とアイデアを募り、オシャレで長く愛される商品を作ることを目標にミーティングや調査を重ねました。

様々なアイデアの中から「努力の上に花が咲く」という中村ハル先生の言葉をモチーフにした「Tシャツ」を作成することに決定。デザイン違いを3種類作成し、霜月祭でのテスト販売を経て、正式な中村学園グッズとしても検討される予定です。他にも同じデザインの「トートバッグ」、小石原焼とコラボした「お茶碗」も、全て花のデザインで統一されています。

この商品は、11月初旬の霜月祭で限定価格にて販売されます。(霜月祭終了後は、丸善キャンパスショップにて販売予定)。商品の詳細は、本誌P16「News & Topics」をご覧ください。

担当者コメント



経営企画室
井上裕乃 室員

どうしても学生は自分だけの視点で物事を見てしまいがちなのですが、今回のプロジェクトは学生だけではなく、卒業生や地域の方などたくさんの方々が「つながる」こと、つまり多くの世代の人に喜ばれる商品を作ることが肝です。「世の中でどんな商品が売れているのか」「上の世代の方はどんなものを好むのか」など、繰り返し視野を広げるように声を掛けてきました。企画から販売までの経験を通して大きく成長できたと思います。



小石原焼「上鶴窯」に協力を依頼。26歳の二代目和田さんの感性と学生のアイデアが合致して盛り上がりました。

広報担当の学生は、Facebookの更新や支援者へのメルマガ配信等、情報公開を担当。
チームアスパラ Facebookページ: <https://www.facebook.com/チームアスパラ-1690003804581001/>

アクティブ・ラーニング推進のために

教育ワークショップの開催

9月1日(木)に開催された「教育ワークショップ」では、『アクティブ・ラーニングとは何か』をテーマに、基調講演や各学部・学科におけるアクティブ・ラーニングの事例報告が行われました。各学科の研究・取組みについて情報共有がなされ、学生が能動的に学ぶ教育の在り方、全学的なアクティブ・ラーニング推進が再確認されました。



ラーニングスペースの整備

学生が能動的に学習する環境の整備として、ラーニングスペースの利用を促進しています。授業時間外の学習の場として、学生同士のミーティングやディスカッションの場として、ホワイトボードやプロジェクター、可動式の机などが配置されています。



(中央本館2F、4号館6F、7号館1F)

この授業に
注目!



**ホームステイをし
世界中の学生と学ぶ
貴重な体験の場**

この授業では、イギリス・ロンドン郊外にあるユーロセンター・エルサム校で、ホームステイをしながら二週間の海外研修を行います。学生たちはその日のために出発前の事前講義を受講します。実際にイギリスで学ぶ二週間という短い期間では、英語力を驚異的に上達させる

栄養科学部 山根 一文 教授

英語・文化海外研修

中村学園ならではの授業や学生に人気の授業など、ユニークな講義や実習を紹介します。

ことは難しいけれども、「英語力をもっと伸ばしたい!」というきっかけづくりの場としては最適。一家庭に一人というホームステイで日常的に英語の世界に浸かりながら、自分だけの力でコミュニケーションを図ろうとすることで気持ちが高まり、帰国後に長期の留学を決意する学生もいます。また、現地で多くの場所や人に触れることで、英語だけでなく海外の多様な文化について同時に学べるのも特長です。

担当教員コメント

最も学んでほしいのは、英語や世界の文化の多様性です。世界中の人々と触れ合うことで、いろいろな英語、いろいろな文化を知ってもらえたらと思います。研修中は多くの名所・旧跡を訪れるので、学びのチャンスはたくさんあります。



栄養科学部
山根 一文 教授



▶▶▶ Student's Voice

語学研修やホームステイ先の家族との会話から、ヒアリングができるようになりました。本場のミュージカル「レ・ミゼラブル」を観て感動したのが一番の思い出!今後は「話せる」ことを目標に、英語を学んでいきたいと思っています。

栄養科学部1年 奥 亜香里さん
(大分県立中津南高等学校出身)



この研修では英語を学ぶだけでなく、現地の人々や文化にふれることで、自分の価値観を変えることができました。将来は小学校教師になりたいと考えていますが、この研修で学んだことを、必修化となる小学校英語教育に役立てたいです。

教育学部2年 江藤 秀一さん
(福岡県立朝倉高等学校出身)



先輩に 会いたい!

さまざまな現場で活躍する
中村の卒業生をインタビュー!
先輩たちの“今”を紹介します。



OB・OG
interview
vol.07

難関をくぐり抜け、
ずっと夢だったという
教員として働く長岡菜月さんに、
中村学園大学への思いや
仕事のやりがいについて
お話を伺いました。



長岡 菜月さん natsuki nagaoka
平成25(2013)年度 栄養科学部卒業
勤務先:福岡市立姪浜中学校

夢へと導いてくれたのは 中村ならではの好環境

中学時代、部活動の顧問がとても厳しい先生だったのですが、その先生に叱っていただいたおかげで自分を変えることができました。それ以来、「人として大きく成長できる時期の子どもたちと関わっていききたい」と、中学校の教員を目指すようになったんです。

大学を選ぶ際、生物や化学が好きだったので理科の教員を目指せる進学先と悩んだのですが、生物や化学の知識を活かしながら管理栄養士という資格も武器にできたらと中村の栄養科学部に入学しました。教員としてクラス担任になることが夢だったので、栄養教諭も取得しましたが、家庭科教諭の道を選びました。

中村の良いところは、とにかく勉強に打ち込める環境があること。向上心のあふれる仲間と学べたことで、難しい道でも迷



わず突き進むことができましたと思います。また、ゼミでは家庭科教育に関する卒論だけでなく社会人としてのマナーも厳しくご指導いただきました。そのことが間違いなく今の私の力になっています。

「やっていて良かった!」 必ずそう思える仕事

現在は姪浜中学校で1年生の担任をしています。吹奏楽部の副顧問もしているので、休みはほとんどありませんが、生徒たちからたくさん元気をもらっているのが決して辛くはありません。「もっと授業をおもしろくできないか」「食育に関することももっと伝えていけたら」など悩むこともあります。教員はやればやるだけ返ってくる仕事。成果が数値にならずに現れたりしません。生徒の表情や言動を見ると「やっていて良かった」と思える瞬間が必ずあります。まだ中学生ですし、自分の将来が見えませんが、何があっても前向きに取り組んでいける人間に育てていけたらうれしいですね。



CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル

やる気に満ちたメンバーが年々増加中!
活気あふれる『吹奏楽部』を訪ねました。



学内外での演奏活動を通して、音楽の楽しさ・素晴らしさをあらためて実感!

吹奏楽の 定番曲から最近話題の J-POPまで、 音楽を自由に楽しむ

中学校や高校で吹奏楽部に所属していたという音楽好きが集い、かつこ良くて迫力のある吹奏楽の定番曲から誰もが知っている人気のJ-POPまで、さまざまなジャンルをこなす演奏集団——。それが、中村の『吹奏楽部』です。

メンバーは1〜4年生までの総勢38名。学園祭でのステージをはじめとした学内活動はもちろん、公民館でのクリスマスコンサートなどの学外活動も積極的に行っています。現在はコンクールには出場していないのですが、やる気の下級生がたくさん入部してくれたので、これからはコンサート活動だけでなくコンクールへの出場も検討しているんです。1・2年生のやる気に私たち3年生も力をもらっています。とても活気のある部ですよ」と話すのは、部長を務める栄養科学部3年の田中ひかりさん。「向上心のある方にぜひ来てもらえたら、もちろん初心者でもOKです!」と語る笑顔からは、大好きな音楽や仲間に対する想いが溢れていました。



中村学園大学・短期大学部 霜月祭

昨年の学園祭は、演奏だけでなく自分たちで司会をしてイントロクイズを行うなど工夫を凝らした楽しいステージに。「お客さんとの距離も縮まり、楽しいひとときになりました!」と部員全員が大満足。



「大学同窓会懇親会」でも息の合ったステージを披露。



学内で行った新歓コンサートの様子。「緊張しますが、たくさんの人に演奏を聴いてもらえるのはやっぱり楽しい!」と部長の田中さん、

Go!Go!

Pickles



1

大講義室ロビーからの展望

[1号館10階]

10階でとても景色がよく、遠くの景色や福岡タワーも見ることができます。8月に行われる大濠の花火大会も他の建物に邪魔されことなく眺めることができる絶景ポイントです。

お気に入りの
スポットを
見つけよう!



流通科学部4年
大津 涼太郎

知ってる?知らない?

中村のレアスポット

中村学園大学・短期大学部のキャンパスには、学部・学科が違ってお互いにあまり知らない、という施設や教室が意外とたくさんあるんです!今号では、広報スタッフピクルスのメンバーが学内取材し、特定の学生しか利用しないレアなスポットを紹介します。



2 美術教室 [6号館2階]

5号館の隣に並んでいる6号館の美術教室は、絵の具セット、色画用紙、ノリ・ハサミなどの道具が数多く揃ってます。美術教室だけでなく、1階には子どもの発達支援に関する研究・開発などを行う発達支援センターもあります。



3 造形室 [5号館]

西門を下って行き、まっすぐ進むと右手に見える隠れスポットのような5号館。教育学部・幼児保育学科の美術の授業で、絵を描いたり、粘土を使ったり、紙を切ったり、全身を使って作業する際に使います。天井には学生が作成した楽しいオブジェが飾られています。



4 ピアノ練習室 [音楽館4階]

教育学部・幼児保育学科の学生は誰もが使ったことのあるピアノ練習室。ピアノ1台ずつ×56部屋もあります!授業前や空き時間、昼休み、放課後など自由に練習に取り組むことができます。暖房・冷房も一部屋ずつに完備しており快適です!



専門的な
学びができる教室
がいっぱい!

キャリア開発学科2年
綾戸 夏美



6

トレーニングルーム

[第2体育館4階]

体を鍛えたい、運動不足を解消したい、体型を維持したい…ジムに入会しなくても中村には誰でも利用できるジムがあります!ぜひ、中村在学中に一度は行ってみましょう。

トレーニングルームは
学生なら誰でも利用OK



流通科学部4年
高尾 弥紗樹

5 表現室 [音楽館2階]

ピアノに合わせて歌ったり、踊ったり、楽器を使ったりできる表現室。教育学部・幼児保育学科の授業で使用されています。壁には実際の現場を味わえるような動物のイラストが貼られています。広々とした空間で、全身鏡が並んでいるのも特徴的です。





8 理科実験室 [2号館7階]

思わず「懐かしい」と昔を思い出してしまうような理科実験室。ガスバーナーやピーカー、マッチなどの実験器具ももちろんですが、人体模型、ハチや蝶などの標本、望遠鏡などさまざまな器具が揃っています。



勉強の合間の息抜きにぴったり



教育学部3年 池田 理沙子



7 アステックスの絵画 [1号館1階]

ペーカリー「アステックス」に飾られている絵をご存じですか?この絵は、長年にわたり雑誌「暮しの手帖」の表紙を飾った、フランスの画家クレール・アステックスの絵です。「暮しの手帖」は、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のヒロインのモデルとなった大橋鎮子さんが手掛けた雑誌で、1948年の創刊から現在も発行されている有名な雑誌なのです!1992年アステックス氏本人が来学したこともあり、喫茶「アステックス」と命名されたそうです。



9 芝生広場 [中央本館南側]

ここは今年、中央本館と2号館の間に新しく出来た「芝生広場」です!晴れた日には綺麗な芝生の上で、ピクニック気分ランチを摂ることが出来ますよ!ベンチもあるので、友達と楽しくおしゃべりする場所にもぴったりです!



10 被服構成実習室 [東3号館3階]

キャリア開発学科の授業で使用する教室で、洋服を作るためのミシンやカラーコーディネートに使うファッション雑誌が100冊以上置かれています。また、色の勉強をするためのグッズも多く用意されており、図工室と家庭科室を組み合わせたとような部屋です。



まだ新しい7号館にはユニークな展示物も!



栄養科学部3年 玉田 小雪



12 中村式移動水流し [7号館2階]

学園祖中村ハル先生が1921年に赴任した横浜市岡野尋常高等小学校において、家庭科教諭をされていた時に考案した水流し台を再現したものです。当時は調理器具がなく調理実習などありませんでしたが、ハル先生は講義だけでなく実習を通して学ぶことを重視され、この移動式流し台を考案し、教室を調理実習室に早変わりさせていたそうです!建学の精神「理論と実際の統合」の考えが表れています。



11 官能評価室 [7号館5階]

官能評価室は、栄養科学部の授業で使う、食べ物や飲み物の味の評価をするための部屋です。室内は、快適な環境で官能評価をするために空調や明るさなどが管理されています。壁で仕切られた8個のブースには小窓と流し台があり、実際の授業では、味噌汁の濃さ(濃い順に並べる)や、五味+旨みの判断をしました。



毎回、本学の教員が、誌面上で「CELERY」ならではの講座を開講。日常生活にも役立つさまざまな情報を発信します。

やる気と生きがいを見出し ここを健康に保とう

私たちは日常生活の中で、さまざまなストレスを受けています。過度のストレスをそのまま抱え込み続けていると、こころの健康を損なうことにもなりかねません。そこで、自分のストレスの状態を知り、上手に解消しながら楽しく暮らしていく方法をお話します。

中村学園大学
教育学部 児童幼児教育学科
発達支援センター長

針塚進 教授

ストレスサインを知って 早期の発見と対応

身体の痛みや不調と違い、こころの痛みや不調は、数値や画像で原因や症状はもちろん、進行の度合いさえ正しく把握することができません。しかし、背後には必ず、きっかけとなる出来事や要因が潜んでいます。その目印として見逃せないのが、日常生活での「自分の意識」と「行動(状態)」です。具体的に言うと、自分では大変だと思っ

ストレスサインかもしれない。5項目(またはそれ以上)が2週間以上続く場合には、「うつ」が疑われますので、専門家(精神科、心療内科)に早めに相談することをおすすめします。

- | |
|--------------------------|
| ①やる気が出ない |
| ②何に対しても興味が出ない |
| ③何をしても楽しくない |
| ④いつも疲れた感じがする |
| ⑤食欲がわかない |
| ⑥集中力が続かない |
| ⑦不眠が続く(睡眠が過多になっている) |
| ⑧痩せてくる |
| ⑨生きていても意味がないと思う(死にたいと思う) |

子どもの場合も、大人と同じように環境の変化や過度のストレスがうつ病発症のきっかけとなる場合があります。普段からまわりの大人が、子どもの体調や表情、行動の変化に気を

配っておくことが大切です。

物事の 受け止め方を変えて ストレスを軽減する

同じ出来事や刺激(プレッシャー)に遭遇しても、ある人にはストレスになったり、ある人にとってはならなかったりと、人によってさまざまです。そうした違いは、ストレスになり得る出来事や刺激に対しての見方や捉え方などによって変わってきます。

例えば、他人からの評価で落ち込む人と自分に都合よく考えられる人、高齢になつて思いどおりに動けなくなつたことを悲しむ人と「〇歳なんだからこんなもの」と楽観的な人など、性格や気質でも感じるストレスの度合いが違ってきます。また一方で、遅刻しな

いように早めに出発する、忘れないようにメモを取るなど、常に先を見通して準備している人もいるかもしれません。一般的に、負けず嫌い、努力家、まじめな人がストレスに弱く、ためやすいと言われています。自分自身を振り返り、思い当たる節がある人はそれを自覚しているだけでも行動は変わってきます。とくに、頑張り過ぎる人は要注意。こころを健康に保つためには、やるべき時には頑張ることも必要ですが、それ以外は楽しむことを心がけながら生活することが大切です。

自分に合った解消法で ストレスを ためない生活を

人はストレスや疲労を感じると、反射的に身体が硬く緊張して身を守る

うとします。この緊張状態が慢性化しないよう、日々のストレスや疲労をその都度発散させることが重要です。趣味を満喫する、音楽を聞く、おいしいものを食べる、気がねなくおしゃべりする……、性格やストレスの状態によつて方法はさまざまですが、自分の好きなことや得意なこと、楽しいと感じることをすれば、それがやる気や生きがいにつながり、気持ちが前向きになってきます。日々の生活の中で、ストレス発散の手助けとなるような楽しみを見つけておくといいでしょう。

また、適度な運動もストレスの緩和に効果的です。こころの不調は必ず姿勢に表れます。背中が丸くなるなど、姿勢に悪い変化が見られたら、こころや身体に何らかの負担がかかっているサインです。疲れていたり、気分が落ち込んでいたりすると身体を動かすことも億劫になりがちですが、そのままに過ごしているとますます塞ぎがちになってしまいます。運動が苦手、仕事で忙しくて運動する時間がないという人でも、ほんの少し意識して身体を動かすだけで気持ちが軽くなります。イライラする時や疲れを感じる時ほど運動を心がけることが必要です。ストレスに負けない心身を保つためにも、普段から身体を動かす習慣を取り入れることをおすすめします。

こころの健康を保つヒント

心理学者・エリクソンの「ライフサイクルにおける自我の発達」を参考に、自分の過去を振り返り、今後の生きがいにつながる課題を見出しましょう。

<p>乳児期</p> <p>泣けば抱っこしてもらえ、いつも見守ってもらえている、という「基本的信頼」が土台となり、「希望」や「自己肯定感」を導く。</p>	<p>幼児期</p> <p>「自分がやる！」という自立心とうまくできない、伝えられないジレンマに揺れ動く時期。周囲に見守られ、励まされながら失敗しつつも乗り越えて成功したという体験を重ねる。</p>	<p>学前期</p> <p>行動して学ぼうとする「積極性」と、他人と関わることで生まれる不安などの「罪悪感」のバランスが「目的(をもつ)」心を育む。周囲の大人は適度に叱り、よくできた時にはたくさん褒めることが大事。</p>	<p>学童期</p> <p>勉強やスポーツなど、いろんなことに打ち込むことで「勤労性」が育まれる一方、負けたり、うまくいかなかったことを体験することによって「劣等感」も生まれる。周囲の大人はいろんな経験をさせ、頑張ったことを褒めて「有能感」を伸ばしてあげることが重要。</p>	<p>青年期</p> <p>「自分とは何か」「自分は何をしたいのか」など自分自身に気持ちが向けられる時期。悩み、失望、葛藤を繰り返しながら自分というもの「アイデンティティ」を確立していく。</p>	<p>若い成人期</p> <p>友情や恋愛、協力的パートナーなどさまざまな形があるが、とくに異性との関係における「親密性」が重要。アイデンティティを尊重し合いながら、親密性を育てることができれば「孤独感」がなくなる。</p>	<p>成人期</p> <p>体力、能力や可能性の限界、さらにはいろいろな意味での時間的な限界を感じ始める時期。今までの人生を見直し、アイデンティティを再確立する必要がある。</p>	<p>老年期</p> <p>今までの人生を振り返り、良いことも悪いことも含めて、自分や自分の歩んだ人生を受け入れていく時期。大切なのは、円熟や英知といったプラス要素が勝っていること。</p>
--	--	--	---	---	---	---	--

Let's Try!!

(緊張をほぐしてリラックス)

いつでも、どこでも、一人でもできる簡単運動です。

肩の上げ下げ

- 1 背もたれにもたれないで、自然にまっすぐ椅子に座る。
- 2 力まずゆっくりと肩を上上げる。
- 3 ちょっときついと思うところで停止し、ゆっくり5つ数える。息は止めない、顔はスマイル。首、ひじ、指先の力は抜く。
- 4 ゆっくりと肩をおろし、力がゆるんだ感じを味わう。これらの動作を2~3回くりかえす。



首の左右ストレッチ

- 1 状態を姿勢よく正し、耳を首に近づける感覚で、ゆっくりと息を吐きながら左右どちらかに首を倒す。
- 2 限界まで首を倒しきったら、約10秒間(気持ちいいと感じる限界まで)停止する。
- 3 ゆっくりと元の位置に戻し、①と同じ要領で反対側に倒す。これらの動作を2~3回くりかえす。



ストレスや緊張を感じたら、少し体を動かしてみよう。



針塚 進 教授

栄養科学部

「フード・マネジメント学科」

(2017年4月開設)

模擬授業に高校生が参加!



8月6日、20日の2日にわたって「オープンキャンパス2016」が開催され、たくさんの高校生や保護者の方々がご来場くださいました。注目は、来年2017年4月に開設する栄養科学部「フード・マネジメント学科」の模擬授業や説明会。学科の概要を知りたい高校生が多数参加してくれました。

模擬授業①

フードビジネスの現場力

手嶋 康則 准教授

目指すはフードビジネスの最先端で活躍する人材!実際にフードビジネスの現場に携わってきた経験を持つ手嶋准教授が、業界のリーダーに求められる人材像についての熱いトークを展開。高校生だけでなく、保護者の方々も熱心に話に聞き入っている様子が見られました。



模擬授業②

甘味料を比べてみよう

古田 宗宜 講師

食品の特徴に合わせて使い分けられている甘味料。この模擬授業は、数種類の甘味料を実際になめてみて、甘みの違いを比べてみるという実験形式で実施。教室に入りきらないほどの高校生や保護者の方でにぎわい、自分の舌で確かめてみることの大切さと楽しさを学んでいただくことができました。



「フード・マネジメント学科」説明会では、設立に携わった2人のキーマンから、高校生へ熱いメッセージが送られました。

実践的なカリキュラムによって、即戦力となる人材を育成!

「フード・マネジメント学科」設立の背景には、毎年、栄養科学科の数割の学生が、食品の研究や開発の道を希望しているという実情にありました。

どんな勉強、どんな人材が必要か、企業と意見交換を行い、その結果、①免許・資格の取得だけでなく、多様な知識・経験を身につける、②理系の知識を持ってビジネスの現場で活躍できる人、③海外で通用する語学力、社会人基礎力、つまりコミュニケーション能力やチーム力にも重点を置いた人材の育成を目指し、分離融合型の学科の構想に至りました。専門知識を深めるのはもちろんですが、食品工場研修や食品ビジネスインターンシップなどのフィールドワークにも力を入れたカリキュラムになっています。



法人本部
上森 啓史 本部長

食の可能性を拓ける 食のスペシャリストを育成!

「フード・マネジメント学科」は、「新たな食品の開発による食産業の活性化」という、九州の食産業全体が抱える課題に取り組み、食品会社や外食産業が求める即戦力となる人材を育成します。

本学科のカリキュラムは、30を超える企業・団体と提携し、リアルな声を反映させた現実



的な科目で編成。1・2年次に栄養科学の基礎科目をしっかりと習得し、3・4年次に、それをビジネスに結び付けるための経営(マネジメント)学を充実させています。座学だけでなく、国内外でのインターンシップやビジネス英語を習得できるコースも設定しています。



フード・マネジメント学科
学科主任(予定)
太田 英明 教授

オープンキャンパスに参加できなかった方、もっとナカムラを知りたい方は、ぜひ下記説明会にご参加ください。

九州各地で開催! 進学説明会 スケジュール

福岡市	12/13(火)	15:00~18:30	エルガーラホール
佐賀市	12/14(水)	15:30~18:30	ホテルグランデはぐくれ
長崎市	12/5(月)	15:30~18:30	長崎ブリックホール
熊本市	12/15(木)	15:30~18:30	熊本県民交流館パレア

大分市	12/14(水)	15:30~18:30	トキハ会館
宮崎市	12/7(水)	15:00~18:00	ホテルニューウェルシティ宮崎
鹿児島市	12/8(木)	15:30~18:30	ジェイドガーデンパレス

入試担当職員が直接みなさんの質問にお答えします!お気軽にご参加ください。

一般入試直前対策相談会&保護者対象説明会

本学にて開催! 12/18(日) 13:00~16:30

UR都市
機構連携
プロジェクト

栄養科学部 安武ゼミ活動報告 UR金山団地「第4回健康栄養教室」開催

9月2日(金)、金山団地町内会、UR都市機構と連携し、金山団地にて栄養科学部4年の安武ゼミ生8名が健康栄養教室を開催しました。

私たちは、まず健康栄養教室を実施する前に、5月と7月の計2回「金山ふれあいサロン」に参加し、高齢者の方々の会話やアンケートなどから、テーマや企画の内容を決めるために必要な情報を調査しました。調査の結果、野菜・果物の摂取が不足していると感じる高齢者が多かったため、テーマを「はじめてみよう！野菜&果物de健康生活」と設定し、「福岡県産の野菜・果物について」「野菜・果物の保存方法」「時短調理方法」について、情報提供と調理実演・試食という構成で企画を進めました。



情報提供では、クイズを取り入れながら、参加型で楽しく聞いてもらえるように工夫し、調理実演では「牛肉とほうれん草のレンジカレー」「レンジで丸ごとトマトスープ」の2品を「電子レンジで作れる時短調理方法」で実演し、「キウイの寒天ゼリー」を加え、試食として提供し



ました。参加してくださった皆さんの反応は大変好評で、「とても分かりやすく説明され、参考になった」「野菜の保存方法が役立つ」「レンジカレーが簡単に今度作ろうと思う」などの感想をいただきました。また、皆さんの意見により、次回の健康栄養教室をより良くするための改善点も見つけることができました。

一から企画をし実践していくことは初めての経験でしたが、アイデアを出し合い、金山団地町内会やUR都市機構のご協力のもと、多くの方々に支えていただきながら作り上げていくことができました。また、健康栄養教室に参加してくださった金山団地の方々もアンケート調査などにご協力いただき感謝しています。今後、得られたデータを卒論研究に活かしていきたいと思えます。

レポート 栄養科学部4年
水口佳奈、赤木久美子
古賀彩希、幾度友美

UR都市
機構連携
プロジェクト

流通科学部 片山ゼミ活動報告 UR金山団地「健康体操プロジェクト」開催

9月9日(金)、片山ゼミ生がUR金山団地集会所(福岡市城南区)で団地住民を対象とした「健康体操プロジェクト」を開催しました。流通科学部3年生の「流通科学研究演習Ⅱ(片山ゼミ)」の授業では、実際に地域の方々と交流し、実情を調査した上で、マーケティング



戦略を通じて地域活性化の考察を行っています。

ラジオ体操からスタートし、学生が考案した認知症予防の体操や、ヨガの動きを取り入れた体操などを体験していただき、体操の後は私たちが考案・手作りしたオリジナルスミージーを飲みながら、参加者の方々と交流会を行いました。

このプロジェクトは昨年、一学年上のゼミ生が始めた活動で、非常に好評だったため、私たちも絶対に成功させたいという強い思いで、当日まで何度も打ち合わせを重ね、練習やリハーサルに力を入れて取り組んできました。当日は昨年の倍の約40名の方が参加され、とても賑やかな雰囲気の中、楽しく体操をしていただきました。

交流会では、参加者のみなさんから「楽しかった」「久々に体を動かして気持ちよかった」「団地ではなかなか近所との交流がないから、こうやって集まってわいわいできたのが嬉しい」など、たくさん声をかけていただき、学生一同、達成感と喜びを感じる機会となりました。

レポート 流通科学部3年
笠裕子、山本渚



国際交流

福岡YMCA七隈校「留学生スピーチコンテスト」に
キャリア開発学科の学生が日本語サポーターとして参加

9月15日(木)、福岡YMCA七隈校にて、7カ国8名の出場者による「留学生スピーチコンテスト2016」が開催されました。福岡YMCAには14カ国・地域から68名の学生が在籍しており、日頃から語学交流やサークル活動において本校と深い繋がりを持っています。



今回のコンテストでは、中村学園大学短期大学部キャリア開発学科の学生が日本語サポーターとしてボランティアで参加しました。出場する留学生とペア

を組み、約1ヶ月間原稿作成からスピーチ練習まで念入りに行い、日本語の文法や発音、話し方などをサポートしました。その成果もあり、出場者8名とも堂々とした様子で「自国と日本の違い」や「日本に興味を持った理由」について発表しました。

優勝したマレーシア出身のライオンさんは「夢を追いかけて」というテーマで、ピアノリストになりたい一心で励んできたピアノの練習や今後の目標について力強いスピーチを流暢な日本語で行い、「夢を夢で終わらせたくないから頑張りたい」と語りました。また、スピーチのあとにはアトラク

ションとして実際にピアノを演奏し、審査員として訪れた人々を魅了し、会場は拍手に包まれました。

参加したキャリア開発学科2年の綾戸夏美さんは、「今回、日本語サポーターとして参加し、一緒に練習を重ねる中で、お互い知らないことを教えあったり、留学生の日本語を学ぶ意欲に圧倒されたり、貴重な経験が出来ました。今後も留学生との交流を通し、異文化理解と英語力の向上に努めたいです」と話してくれました。



流通科学部アジアビジネスコース「海外インターンシップ」
ベトナム現地研修が行われました

流通科学部アジアビジネスコースでは、3年次に選択科目「海外インターンシップ」を開講しており、東南アジアの日本企業における就業体験や意見交換によって、アジアビジネスを体感することを目的としています。今年度は、ベトナムのホーチミンおよびハノイの2班に分かれ、現地研修が行われました。

8月22日から26日の5日間、ベトナムのハノイにおいて、(株)レオパレス21ベトナム支店にて海外インターンシップに参加させていただきました。アジアで働く意義や、日本との違いを学び、よりグローバルな人材になる目標を掲げ、研修に臨みました。

インターンシップ初日から日本人の駐在スタッフの方に同行し、レオパレス21が展開するサービスアパートメント(家事付きの日本人向けマンション)の点検や改善、現地採用のスタッフの面接、仲介事業の営業同行など、様々な業務を体験しました。また、イオン(株)の駐在員の方に解説いただきましたながら、



ショッピングモールなどの店舗視察をさせていただきました。ホーチミン組は、日系企業を訪問し、日本語を勉強中の現地スタッフの方へ、日本についてのプレゼン発表も行いました。

生活環境や文化が異なるのは当然ですが、日本では当たり前のことが現地では非常識となることもあり、ベトナムに限らず、海外での生活や就業においては柔軟に対応することが重要だと感じました。

一方で、海外インターンシップを経験することで視野を広げるとともに日本の良さを改めて発見することができ、貴重な経験となりました。

今回の経験を今後のアジアビジネスに関する学習や就職活動などに生かせるようにしたいと思います。

レポート 流通科学部3年

迎太一郎



詳しくはWEBに掲載しています

ホームページ
http://www.nakamura-u.ac.jp/



公式Facebook
https://www.facebook.com/NakamuragakuenUniversity/



指導主任研修会が行われました

9月1日(木)、「平成28年度指導主任研修会」が行われました。本学では、学生の情緒豊かな人格形成を支援するため指導主任制度を設けており、教職員が適切な援助と指導助言を行えるよう、共通認識を図る場として毎年研修会を開催しています。



『発達障害をもつ学生への支援』をテーマに、「教育学部での取組報告(講師・教育学部 吉川昌子教授)」及び「指導主任と学生相談室の連携(講師・教

育学部 針塚進教授)」について報告が行われました。個別ニーズにより特別の配慮・支援を要する学生に対して、指導主任一人だけで判断・支援するのはなく、学部・学科内で組織だった支援を行い、学生相談室とも連携を図ることを提唱されました。

続いて、九州大学 田中真理教授による講演「発達障害と思われる学生への対応と支援」では、本学教職員へ行われた事前アンケートを基に、今後の授業や学生生活で求められる支援についてお話しいただきました。

研修を通じ、日頃の学生支援について改めて見直す機会となりました。



米国料理界の名門 CIA と包括連携協定を調印

9月4日(日)、中村学園大学は「The Culinary Institute of America(通称 CIA)」と包括連携協定を締結しました。CIAは米国ニューヨークを本校とし、



世界最高レベルのプロフェッショナルな料理教養と技術教育を提供し、「Culinary Arts(調理学)」の準学士または学士の学位を付与する高等教育機関です。ニューヨークのトップ10レストランの

うち7軒のシェフはCIA卒業生という実績を有するなど、CIAは「食のハーバード」と称され、米料理界の名門といわれています。

本学は、平成29年4月開設の栄養科学部フード・マネジメント学科では、食産業においてグローバルに活躍できる食のスペシャリストを育成します。食産業において数々の著名人を輩出し、世界中に同窓生ネットワークを有するCIAとの連携は多くのメリットが期待されます。

今後は、両校の単位互換の認定について、協議される予定です。



学生が企画した学園オリジナルグッズ 霜月祭にて限定価格で販売します!

■Tシャツやトートバッグが完成
今号の特集「中村発プロジェクト」(P5)でも紹介した、チームアスバラによる学園オリジナルグッズが完成しました。グッズは全部で4アイテム。中村ハル先生の言葉、「努力の上に花が咲く」をモチーフとしたデザインが光ります。



Tシャツ(3種類) 霜月祭限定価格1,000円(通常価格1,500円)

11月3日~5日の3日間、霜月祭にてチームアスバラが販売します。グラウンドの販売ブースに、遊びに来てください!



片手に収まる小さめサイズ。



飛び鮎(かんな)の紋様の一ヶ所に中村の「N」が。



小石原焼茶碗 霜月祭限定価格1,400円(通常価格1,850円)

■小石原焼「上鶴窯」とコラボした中村オリジナルお茶碗



トートバッグ 霜月祭限定価格1,500円(通常価格1,800円)



ランチバッグ 霜月祭限定価格1,000円(通常価格1,200円)

※価格はすべて税込

「合同教養教育科目」野外活動体験
「宿泊型野外活動(キャンプ)」を実施

今年度、新たに開講された合同教養教育科目「野外活動体験」において、9月7日～9日の3日間、夜須高原青少年自然の家(福岡県朝倉郡筑前町)にて宿泊型野外活動(キャンプ)の演習が実施されました。

栄養科学部1名、教育学部17名、流通科学部3名の計21名の学生が参加し、4～5人ずつの5つのグループに分かれてさまざまな野外活動を体験しました。

野外調理では、火を起こして薪をくべながら炊飯し、カレーを調理する過程で、薪を加減して火力を維持することの難しさを経験しました。1時間

【プログラムの概要】

1日目	テント設営、野外調理、ナイトハイク
2日目	オリエンテーリング、クラフト、溪流あそび、キャンプファイヤー
3日目	テント撤収、ネイチャーゲーム



以上かけて出来上がったカレーを食べ比べてみると、同じ材料で作られたカレーでも各グループによつて味が違うことを知り、野外調理の楽しさと難しさ、そして、その奥深さを実感しました。

また、キャンプファイヤーでは、高く燃え盛る营火を囲み、各グループが出し物を披露して幻想的な時間を過ごしました。参加者は、学部の垣根を越えて交流を深め、互いに助け合いながら2泊3日のプログラムを全員無事に修了しました。この体験を踏まえて、参加者が今後も野外活動についての学びを深めていくことが期待されます。



「教職員の動き」

●採用人事(平成28年9月1日付)
法人本部 常勤監査役

占部 由憲

「教員の表彰」

●日本ダイレクトマーケティング学会
奨励賞

平成28年7月、中川宏道講師(流通科学部)が、日本ダイレクトマーケティング学会第15回全国研究発表大会の総会において、奨励賞を受賞しました。論文「オンライン販売におけるロイヤルティ・プログラムの効果：リアル店舗との比較」が、日本におけるダイレクトマーケティングの研究および教育への啓蒙に資する著書として授与されました。



●日本フードシステム学会 学術賞

平成28年6月、薬師寺哲郎教授(流通科学部)が、日本フードシステム学会学術賞を受賞しました。この賞はフードシステム学において特に顕著な研究業績を修めた研究者に授与されるもので、同教授の「食料品アクセス問題に関する一連の研究」が表彰の対象となりました。



●Best Doctors in Japan
2016-2017

中野修治教授(栄養科学部)が、ベストドクターズ社から医師同士の評価によって選ばれる「Best Doctors in Japan 2016-2017」に選出されました。Best Doctorsとは「医師同士によるピアレビュー調査にて各専門分野で多くの支持を受けた医師が選出される調査で、米国で開始し現在各国で展開されています。中野教授はがん医療における高い支持が認められ、今回で4回目の受賞となりました。



「平成28年熊本地震で被災された志願者に対する特別措置について」

本学では、被災者の皆様の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るため、2017(平成29)年度入学試験(大学、短期大学部、大学院)において特別措置を実施いたします。詳しくは、本学ホームページに記載しておりますので、ご参照ください。

福岡工業大学短期大学部との 合同教育ワークショップ開催

9月2日(金)、本学にて福岡工業大学短期大学部との合同教育ワークショップが開催されました。両短期大学部は、それぞれの短期大学部がこれまで独自に進めてきたSD研修やFD活動を深化させ、それぞれの強みや利点を生かした取り組みを共同推進し、職員の能力向上や教職協働を図るとともに学生サービスの向上



や教育の質の向上を目指す目的で、平成27年5月に交流協定を締結いたしました。

今回のワークショップでは、まず「学生の学びを向上させる授業とは」をテーマに、事前の相互授業参観によるアンケート等を元に授業の振り返りを行い、その後KJ法によるグループワークで授業改善のための活発な意見交換がなされました。短期大学部が抱える課題についても再認識する有意義な研修会となりました。



西部地区五大学連携懇話会 「ビジネスマナー基礎研修」開催

9月7日(水)、本学にて西部地区五大学連携懇話会「ビジネスマナー基礎研修」が開催されました。この研修は、西部地区五大学(九州大学、西南学院大学、福岡歯科大学、福岡大学、中村学園大学)の連携事業の一環として、教職員の資質向上を目的に毎年開催されています。

今回は、新任職員や改めて基本マナーを見直したい職員が各大学から参集し、講師は短期大学部キャリア開発学科の藤島淑恵講師が務めました。研修では、社会人・組織人としての意識を高め、ビジネスシーンで求められるマナーや知識の幅広い習得を目指し、敬語や電話対応など



のビジネスマナーの基本ルールについて実践を交えて学びました。

平成28年度 受託研究・共同研究等の採択状況

受託研究

[研究者] 産学官連携推進センター
[研究課題名] 栄養科学に依拠したレストランメニュー開発のための総合コンサルティング
[研究期間] 平成28年6月15日～平成29年3月31日
[企業名等] 株式会社ボルドーワインバーブリュス
[交付予定額] 1,000,000円

[研究者] 甲斐 諭(流通科学部・教授)
[研究課題名] 地方創生につながる、黒大豆(筑前クロダルマ)及び加工食品を核とした「筑前町産農産物のブランド化」のために必要な調査・研究

[研究期間] 平成28年9月1日～平成29年3月31日
[企業名等] 筑前町
[交付予定額] 1,000,000円

[研究者] 甲斐 諭(流通科学部・教授)
[研究課題名] 菓子文化の向上や地域活性化への貢献を模索する
[研究期間] 平成28年10月1日～平成29年9月30日
[企業名等] 株式会社ひよ子
[交付予定額] 1,000,000円

共同研究

[研究者] 熊原 秀晃(栄養科学部・准教授)
[共同研究者] 大和 孝子(栄養科学部・准教授)
[研究課題名] ジュニア競泳選手を対象としたオリンピック育成に質する栄養支援に関する包括的研究
[研究期間] 平成28年8月1日～平成28年12月31日
[企業名等] プリヂストンスポーツアリーナ株式会社

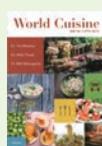
研究寄付金

[研究者] 太田 英明(栄養科学部・教授)
[研究課題名] 機能性表示を目指した福岡県産 新柑橘「果のしずく」を利用する商品開発に関する研究
[研究期間] 平成28年度
[企業名等] 熊手蜂蜜株式会社
[交付予定額] 500,000円

[研究者] 三成 由美(栄養科学部・教授)
[研究課題名] 地域特性を考慮した災害時炊き出しメニューに関する研究
[研究期間] 平成28年度
[企業名等] 西部ガス株式会社
[交付予定額] 1,500,000円

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載※ 冊数等は発行日現在のもの



「World Cuisine」

津田晶子
食物栄養学科 准教授 共著
松隈美紀
食物栄養学科 教授 共著
(英宝社 平成28年9月)



「多聴多読マガジン 英語で伝える日本食 8月号」

津田晶子
食物栄養学科 准教授 共著
(コスモビア 平成28年7月)



中村学園大学
中村学園大学短期大学部

第50回霜月祭



11/3 祝 11:30-18:00

- ・書道パフォーマンス
- ・餅つき大会 *りゅうちえる*
- ・スペシャルトークショー
- ・It's show time
- ・抽選会

11/4 金 10:00-18:00

- ・ミスキャンパスコンテスト
- ・のど自慢
- ・新企画
- ・It's show time

11/5 土 10:00-18:00

- ・NAKAっぶる
- ・王子様コンテスト
- ・N-1
- ・ダンスコンテスト
- ・フィナーレ

7大学合同プレゼント企画
写真を撮って投稿しよう♪めざせ7大学制覇!

- ・福岡大学
- ・福岡女学院大学
- ・中村学園大学
- ・日本経済大学
- ・福岡工業大学
- ・九州産業大学
- ・西南学院大学

ちびっこパーク

- ・のびのび広場
- ・中村アドベンチャー

注意事項 学園祭期間中は、安全の為、駐車場は開放しておりません。公共交通機関をご利用ください。◎西鉄バス「中村学園大学前」下車 ◎地下鉄七隈線「別府駅」下車

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。※保護者の方には毎号送付しています。

[申込先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 広報室「広報誌定期購読申込」係

